

日本気象学会昭和40年度秋季大会告示

1. 期日 12月1日(水), 2日(木), 3日(金)
2. 場所 東京都千代田区大手町 気象庁内
3. 研究発表募集
 - 1) 締切: 9月30日(木) 必着
 - 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁電計室気付 岸保勤三郎
または東京都文京区大塚窪町 東京教育大学理学部 吉野正敏
 - 3) 様式: 必ず所定の用紙に記入すること(天気本号挿入)。用紙不足の場合は事務局または支部に請求して下さい。
 - 4) 講演時間: 討論時間3分を含めて15分以内(したがって研究発表は12分以内)。
4. 予稿集刊行について
 - 1) 前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿集には必ず研究結果を記載すること。原則として予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は必ず提出願います。なお講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記して下さい。
予稿提出先: 気象庁観測部測器課 竹内清秀
期限: 10月23日(土) 必着(以後に到着した場合は予稿集に掲載できませんから、郵送に要する時日を考慮して早目に投稿して下さい)。
 - 2) 予稿集の予約: 大阪で今春開催された春季大会では大会出席者が多く、全く予想しなかった売行のため大会第1日に予稿集が売切れ、会員各位にご迷惑をかけました。このようなことのないよう、今回からあらかじめ予約により必要部数を確保するように予稿集を印刷しますから、お手数でも、上記 竹内清秀宛、または各支部宛に葉書または文書で予約申込をして下さい。(予価 200~300円)
予約締切: 10月23日(土) 必着

日本気象学会夏季講演会

(プログラム・講演要旨は本文249頁以下を参照)

会期: 8月27日(金) 10時より 会場: 気象庁5階第1会議室

月例会のお知らせ

8月 月例会

主題: 気象学史と気象教育

期日: 9月20日(金) 13時より

会場: 気象庁2階, 気象大学校教室

講演題目

1. 根本順吉(気象庁): 明治初期における気象観測の諸起原(20分)
2. 渡辺和夫(気研): 気象衛星による気象観測の発展(20分)
3. 奥田 穰(気研): 災害認識の歴史的発展と災害対策(20分)
4. 久米庸孝(羽田航空): 題未定
5. 堀内剛二(気象大): 日本科学史における政治的季節(20分)
6. 竹内丑雄(成蹊小): 藤原咲平の気象学と宗教(20分)
7. 関口 武(東京教育大): 小学校社会科「世界の気候」と初中教育における気象気候の取扱い方(20分)
8. 牧野 融(慶応高校): 最近の地学教育について(20分)

9月 月例会

主題: 国際生気象学会 環境生理のシンポジウム

期日: 9月12日(日)~17日(金)

会場: 国際観光ホテル(京都)

会費: 2,700円 Banquet: 2,160円

申込等の詳細は

杉並区高円寺北4丁目35-8 気象研究所
応用気象研究部 神山恵三
にお問合せ下さい。

10月 月例会講演申込み

主題: 気象災害

会期: 10月22日(金) 10時より 会場 気象庁内

申込先: 東京都杉並区高円寺北4丁目35-8
気象研究所台風研究部 奥田 穰

主題: 気象統計

会期: 10月15日(金) 10時より 会場 気象庁内

申込先: 気象研究所予報研究部 小沢 正

申込締切: 8月31日(火)